

広報

ふじかわ



1月号

●平成2年1月5日発行 No.342

町のメモ

平成2年1月1日現在	
人口	17,393人
増減	+7人
男	8,570人
女	8,823人
世帯数	4,634世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩渕 121



おじいさんから教えてもらい
手づくりのおかざりで新年を
(宮町)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

迎春

富士川町長 常葉雅文



麗峰富士の頂きの白雪に、そして清流富士川の川面に映える壮厳な陽の光に、輝しい新しい年のはじまりを肌感じます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の国内外の情勢は非常に厳しいものがありました。特に、昭和天皇の御崩御・平成時代のはじまり、国政においては竹下・宇野・海部内閣へ交代し、政治への信頼回復、抜本的税制改革での消費税の見直しなど、国民の衆目するところでありました。

このような諸情勢の中で、当町をとりまく環境も非常に厳しいものがありました。安全で清潔・きめ細かな福祉と健康、産業基盤整備と活性化対策、うるおいのある町づくりなどを重点とした諸施策や事業を遂行してまいりました。――まちづくり月間における「古谿荘」での日本庭園の一般公開と講演会。夏にはなくてはならない「風物詩」として定着したふじかわ夏まつり。川遊びを通して自然とのふれあいを目指した『富士川リバーランドフェスティバル』。大学と地域住民との結びつきや地域文化の向上に、県立大学特別公開講座の開講。心身障害者小規模授産施設「ふじばら作業所」のオープン。健康づくりの拠点としての「保健センター」での健康対策の推進など――内面充実へ向けての一年であったかと思えます。

さて、心新たに新年を迎え、二十一世紀を展望できる町づくりに、町民のみなさんと共に英知を出し合い、着実に、その諸施策の遂行に努力していく覚悟であります。

町民のみなさんのスポーツの殿堂。また、ふれあいの場としての総合体育施設の用地取得や建設。「にっぽんリゾートふじの国・富士川ふるさとリゾート」の重点整備地域。富士川の自然と景観を生かした「親水公園」など、第二次総合計画における基幹事業の推進や道路広域交通体系として、県道富士川身延線バイパス、新富士川橋、富士川ICの建設促進、また、確実に迫り来る高齢化社会への対応を昨年制定した高齢化対策基金を計画的に運用し、施策を着実に推進していく所存であります。現在、平成二年度の予算編成作業を進めておりますが、国・県の動向を見極め、財政の健全化を基本姿勢としながらも、社会経済の構造変化などに伴う町民生活の充実と福祉を増進する重要施策及び緊急事業を推進すると共に、町民のみなさんの要望を的確に把握し、施策に反映していきたいと考えております。

心身共に健康でありたいと願うのは、私だけでなく、町民のみなさんと同じだと思います。ことしの目標は引き続き「健康な心とからだで住みよい町に」と決まりました。本年は、具体的な実践目標のサブタイトルが「進んで受けよう検診を」になりました。目標の周知徹底と実践に町民のみなさんといっしょに対処していきたいと思っております。

年頭にあたり、健康で明るいご家族のご多幸をお祈り申しあげると共に新しい時代を創造し得る環境づくりと「まちに住んでよかった」「わたしのふるさは富士川町」と誇りを持てる町づくりを更に推し進めるべき決意を新たにいたしましたところであります。

本年もみなさんのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

12月 定例会

可決された提出議案

- ◎富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正
- ◎単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例の一部を改正
- ◎富士川町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正
- ◎富士川町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正
- ◎平成元年度富士川町一般会計補正予算
- ◎平成元年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算
- ◎平成元年度富士川町水道事業会計補正予算
- ◎平成元年度富士川町老人保健特別会計補正予算

一般会計の 主な補正内容

- 議会費へ 三十二万八千円
- 総務費へ 二千九百八十四万一千円
 - 減債基金積立金など
- 民生費へ 千六百四十四万七千円
 - 高齢化対策基金積立金など
- 衛生費へ 百二十四万円
- 農業水産費へ 二百八十五万八千円
- 商工費へ 二百七十三万三千元
- 土木費へ 千二百五十二万九千円
- 小池スポーツ公園造成工事など
- 消防費へ 二百十四万円
- 教育費へ 六百六十六万二千元
- 災害復旧費へ 千二百四十六万四千元
- 町道松野内房線災害復旧工事

- ◎富士川町減債基金条例の制定
- ◎富士川町建築協定条例の制定
- ◎町道路線の認定

思い出と期待

常盤 政治さん
(東京都在住)

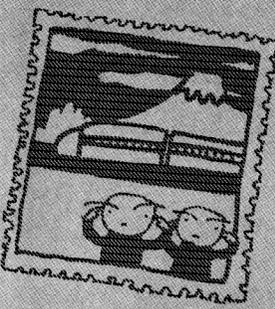
小学四、五年の頃、校舎の改築のため二部授業が行われ、遅番だったので、通学途中、富士川のほとりにあった茶屋で餡パンの買い食いをするのが楽しみでした。日華事変が拡大するにつれて餡パンがジヤムパンになり、やがてパンそのものもなくなってしまいました。当時の富士川は小学生の恰好の水泳場でした。この記憶は強烈で、戦後、富士川で泳げなくなつて久しいのに、年に一度のお盆帰りに、泳げるようになってくるかもしれないとの淡い期待をもつて、旅行バッグに水着をひそめたものでした。しかし、もう二十年以上も富士川では泳いでいません。それどころか富士川の水質汚染が、広報ふじかわに報じられております。今日、世界的規模での経済発展の帰結がグローバルな地球環境汚染として問題視されております。富士川の汚染もその一環にはかならないようです。「富士川の自然を守る会」の今後の活動の成果に期待します。

富士川絶唱

大村保さん
(静岡市在住)

傷口を拡げて底を流れいる
わが母の川 富士川に立つ
甦れ わが母の川 富士川よ
少年の日は 返らざるとも

この川に 別れ幾歳 川千鳥
真白ろき姿 今日逢んとは
悠々と 川の流れに添て飛ぶ
川波千鳥 生きの不思議さ
川千鳥 われはぐれ鳥 君だけは
故郷の川 離れずにいたか
岩蔭に湧きて流る 真清水に
小さき川魚 群れて騒ず
鶺鴒が飛んで止まった岸の石
苔の手ざわりたしかめず知る
思い出す一つ一つより数多き
川原の石に 何を拾わん
故郷は同じなるらん四ヶ郷ダム
上と下との砂利の面ざし
わが聞き川瀬の音は今何処
四ヶ郷ダムが落すとどろき
ダムの上若き波音ダムの下
老いさらばえし我を見出す
常夜灯河岸場の跡に只一人
坂下の町は 寒々として
振り返る秋の午後の陽故郷の
山、山、山の名を呼んでみる
鯉沢河岸場の跡の中の州の
スキの穂波 川下を向く



ふるさとへの便り

以前、富士川町に住んでいましたが、現在は町外で生活している3人の方から「ふるさとへの便り」が届きました。新しい年を迎え、いつまでも思い出と期待の大きいふるさと、富士川町であってほしいですね。



今年も午年

平成

二年は午年です。馬は、人間と意志のかよう家畜として、昔から親しまれてきました。利口な動物というわけですが、最近では馬を見かけることが少なくなりました。八万二千頭——これは、日本で飼われている馬の一番最近の数です。そのほとんどが乗馬用なのです。

人類が馬を家畜として飼いはじめたのは、紀元前四千年ごろと推定されます。そして今日まで、運搬用、農耕用、乗馬用はもちろん、戦争や狩猟にも馬は登場します。

こうした

馬と人間との密接な間柄を反映して、馬についてのことわざや漢字が豊富です。「馬がいなくなると、天気がよくなる」とか、「馬がはねると雨になる」という地域

があるかと思えば、一方では「雨になる」のではなく「晴れる」と、反対の意味を言う地方もあります。これは、馬と人間との関係、その地域の気候条件などの違いによるものでしょう。

馬偏

のつく文字もいろいろあります。駅、駐車場などは現代でも重要な交通用語です。かつて、馬が活躍した時代がしのばれます。「驚」は、馬が前足を上げて、後ろ足で立ち、上向き意味で、驚いたとき、このような姿勢になります。「騒」は馬がたくさん寄り集まることで、それが「騒がしい」の意味になりました。

ところで、初もうでや合格祈願に奉納する絵馬は、もとは神社や寺に馬を奉納する代わりに、馬の絵を書いたのが始まりとされています。

さて、今年も馬力アップして大いに頑張りますか、それとも馬耳東風……マイペースでのんびりいきますか。いずれにしても、ウマく乗り切りたいものです。

小学校の頃

田邊隆一さん
(横浜市在住)

その日、小学校が終ると、私は木島から通っている同級生を誘って、その子の帰り道とは反対の方向に引張っていきましました。途中、桑畑で桑の実を食べたりして、道草をしていると、夕暮れがだんだん近づいてきました。その時、私は急に意地悪な気持ちになって、「もう蒲原まで来てしまったから、お前は家に帰れないなぞ」と脅してしまいました。すると、その子は「わっ」と泣きだすと、大声で泣きながら、もと来た道を引き返していきましました。真っ赤な夕焼けの中に消えていくその子のシルエットが、子供心にも悪いことをしたという罪の意識とともに、今でも鮮明に脳裏に思い浮かびます。小学生の頃の一番印象に残る出来事です。

国際交流の第一歩

——県立大学の留学生と——

十二月十日(日)、静岡県立大学に留学している中国や台湾の留学生十名と県立大学特別公開講座受講生二十四名(富士川町文化事業振興会秀村敏朗会長)との交流会が開かれました。

午前十時に富士川駅前

合し、常葉雅文町長が歓迎の言葉を述べた後、留学生と受講生は一緒に駅前公園や民俗資料館・野田山健康緑地公園を見学しました。

緑地公園の展望台では、晴れ渡った青い空に雪を頂く富士山の勇姿から駿河湾を一望できる景観に感

激していました。

特別公開講座の講師高木桂蔵先生(県立大学国際関係学部教授)は、「自然に恵まれ、人情味豊かな富士川町の人たちと、留学生が親睦を深められれば大変喜ばしいことです。

このような交流会を通じて、お互いの交流が更に深まるよう継続的に開催できれば」と話していました。

交流会に参加して



留学生会長
季 展 仁

間近に見る富士山の美しさに感動しました。留学生として、初めて訪れた富士川町の方々の温かいもてなしに感謝いたします。

できることなら再び富士川町を訪ね、皆さんとの交流を深めたいと思っています。



野田山緑地公園での記念撮影



楽 美 良
(中国)

現在、みかんの皮を乾かして作る漢方薬の研究をしています。一番感じていることは、野菜などの物価の高さです。来日四年目になりますが、年末には友人を訪ね、日本の正月を味わうつもりです。

富士川町で交流会ができたことに感謝しています。



謝 紅 鯨
(台湾)

富士川町の方の心のあたたかさが私の心に残っています。



季 軍
(中国)

日中交流の県費留学生として、一年の任期で漢方薬の研究生として派遣されました。富士川町は、とてもきれいで自由な町。今後も交流を深めていきたいです。

残り二ヶ月の滞在ですが、薬学の研究をがんばります。



公開講座受講生
中川 晴 二

県立大学の公開講座が縁となって同大学に留学している学生との交流を深める為、当町を見学してもらいながらの懇親会が開催され、受講生の一人として参加させていただきました。

「国際化」は、今流行語のごとく氾濫し、国際交流の名の下に各地で行事が華々しく催され報道されています。

当町の交流会は、地味でも実の有るものとし建前の火花で終らせたくないものです。



1月~2月の予定

(1月) ……どんど焼き……

14日(日) 祝成人各区対抗駅伝競走大会
新春ふじかわ寄席 (13:00開場)

15日(月) 第39回富士川町成人式 (9:30受付)

17日(水) 一幼家庭教育学級(もうすぐ一年生)

20日(土) 一小家庭教育学級(ビデオフォーラム)

星座観察(富士川地区ふるさと教室 18:00)

21日(日) 松野地区子供会駅伝大会

22日(月) 二小家庭教育学級(親子でトリム)

24日(水) 県立大学公開講座 (アジアの文化)

25日(木) 県立大学公開講座 (古典からみた静岡県)

27日(土) マラソン大会 (一・小・二小)

第1回駿河たこ作り (松野地区ふるさと教室)

県立大学公開講座 (静岡県史)

(2月) ……節分……

3日(日) 第2回駿河たこ作り (松野地区ふるさと教室)

マラソン大会 (さくら台幼)

児童館の節分……豆まき

4日(月) 郡駅伝競走大会

7日(木) 県立大学公開講座 (アジアの文化)

8日(金) 県立大学公開講座 (古典からみた静岡県)

10日(日) 県立大学公開講座 (静岡県史)

14日(木) 県立大学公開講座……閉講式

ストレッチングは、アメリカのボブ・アンダーソンが考案し、またたく間に世界に広がり、ブームを呼びました。

従来の準備体操や柔軟体操との大きな違いは、これからはげしく動かそうとする筋肉にシグナルを送り目覚めさせることです。したがって

筋肉の緊張をやわらめ、筋肉障害のようなスポーツトラブルやケガの予防のための準備運動としても最適です。

また、筋肉がしなやかに伸び縮みできることは、若さと健康のパロメーターにもなります。

軽スポーツ紹介

——ストレッチング——

ように行えばよいのか、代表的なストレッチングの例を紹介してみよう。

(1) 立位で体前屈

ゆっくりと体を前に倒して、首、肩、腕の力を抜いた姿勢を、約二十秒間保ち、臀部、臀部、脚の裏側を伸ばします。

(2) 肩伸ばし

頭の後ろで手をもち、横向きながら両肘と頭をゆつくり後方へ動かしながら、胸と上腕三頭筋を伸ばします。

(3) 肩入れ股関節伸ばし

足を開き、両手を膝におい、片方の肩を下へ動かして上体をねじります。そして、肩の前面、腰、股関節の筋肉を伸ばします。

(4) 全身のストレッチング

おおむねに寝た姿勢で、両足、つま先を伸ばし、両腕もまっすぐ上に伸ばします。そして、全身を伸ばしながら腹部を薄くするような感じで腹筋を引きしめます。

駿河凧を作ろう

作ろう

凧・紙鷲とも書き、平安時代には既に作られていたと言われ、古くは中国から長崎に入り次第に各地に広まり、形や絵柄も郷土色豊かなものになりました。

今も凧上げはすたれたこととはなく、正月にお父さんやお母さん達と、凧上げに興じる子供たちの姿は、のどかで趣が感じられます。

静岡県には、長泉町や静

岡市の駿河凧、大須賀町の巴、やっこ・トンビ凧、相良凧、広瀬のやっこ凧、浜松凧があり、新しいものでは、クニヤクニヤ凧、ゲイラカイトなど数多くの凧が見られます。

少年少女ふるさと教室(松野地区)では、駿河たこの会の「浅井博先生」をお招きして、昔ながらの「長泉の駿河凧作り」を計画しています。

期日 一月二十七日(土)と二月

三日(土)・十三時

会場 松野児童館

興味のある方はご参加ください。材料費は三百円です。

七草なすな 唐土の鳥が

一月七日は「七草」です。そこで、今月は「七草」について話します。

一月七日の朝、七草粥を食べたことがあるでしょう。七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケのザ・スズナ・スズシロの「春の七草」のことです。

この風習は、一月六日をムイカトシコシ・ムイカトシトリなどと呼び、大晦日と同様に年越しの日だとすることからきていると思われま

す。ですから、七日は元日を中心にした年神祭りの終わりの日でもあり、また逆に十五日を中心とする小正月を迎えるための精進・謹言する物忌の開始の日ともみられ、昔は仕事を休んで体力を養う日でもあったのです。

(敬称略)

- 常盤 登 (木島・小山・室野)
- 篠田 天秀 (相生町)
- 雨宮 久 (上町・吉津)
- 植松 勝子 (舟山町)
- 伏見 益司 (坂下)
- 渡邊 敏定 (旭町)
- 伊藤 江 (堺町・川坂)
- 池内 秀夫 (新町)
- 杉山 正作 (新町本町)
- 大屋 伊津子 (四十九町)
- 若月 幸江 (宮町1~11)
- 土橋 亘 (宮町12~24)
- 加藤 早苗 (小池)
- 岩崎 架治 (大楽窪)
- 遠藤 勇 (本通1、3)
- 渡邊 慎一 (本通4、幸町)
- 植松 勝 (東町1)
- 太田 義雄 (東町2、日の出町)
- 佐野 臣弘 (南町1、かぎあな)
- 錦織 徳雄 (南町2)
- 佐野 謹子 (富士見町)
- 西森 千鶴江 (八幡町)
- 青柳 正 (富士松野)
- 白井 滋賀子 (清水町)
- 大津 かほ子 (大北町)
- 大島 愛子 (仮下町)
- 塩川 正明 (中野台)

12月の交通事故

人身事故	9件(9)	合計	21件(16)
物損事故	12件(7)		
富士川身延線	4件(5)		
国道一号线	5件(1)		
町道	9件(7)		
県道	1件(3)		
その他	2件(0)		

()は昨年

秋の叙勲で勲五等 双光旭日章を受彰

望月 康江 さん(舟山町)



おめでとう
おめでとう

秋の叙勲で勲五等双光旭日章を受章した望月康江さんの祝賀会が、昨年の十二月十六日に中央公民館で行われました。

望月さんは、静岡第一師範学校を卒業した昭和十一年から教壇に立ち、退職後も町の教育委員長や教育長としても活躍し、教育の振興に尽くされました。

また、学生時代から陸上の短・中距離の選手で、全国大会にも出場して、優勝されたこともあります。

「町政を語る集い」に二百件を越す意見が

「町政を語る集い」は、町民のみなさんからの意見や提案を幅広く聞き、町政に反映させる広聴活動の一環として昭和五十四年から始まり、五回目になりました。

今回は、六月六日から十一月二十七日まで、二十九会場に七百七十五人の町民のみなさんが集まり、身近な問題から将来を展望した意見など、二百件を越す意見や提言がありました。

みなさんからの意見などは区長さんを通じてお知らせするとともに、これからの町政に反映していきます。

富士川俳句会(文協俳句会)

- 海鳴りに走り根の艶十二月 南町一 上野 君子
- 砂に広く波紋囁く小春風 南町一 上野みつ子
- 冬早真砂に崩る足の跡 南町一 田辺つぎ子
- 小春風砂にあぶくの穴残し 南町一 錦織 和子
- 竹箒の寄せる落葉の波の音 新町 秋山 光恵
- 嬰兒の泣寝入りする師走かな 新町 早川 和子
- 梵鐘に冬夕焼の入江かな 相生町 齊藤 延子
- 釣瓶井戸残して寺の柚子たわわ 新町 山本まさ子
- 百観音の頭に賽銭冬ぬくし 新町 小永井敦子
- 貼替うる障子に又も児の小指 吉野 大石 営子
- 裏寺に目残し柿の二つ三つ 本通四 山上 鈴子
- うたた寝の炬燵に本を重ねとり 幸町 影山 節子
- 紅葉明り湯浴む親子の声とどく 南町一 佐野美代子
- 枯一葉落ちしゆらぎの涼 清水町 村上千里江
- 箱根路の傾斜畑の干し大根 南町二 久保田恒子
- 行く秋の勤め帰りの足早に 南町二 宇佐美澄江
- 電線にお昼休みのすずめかな 八幡町 錦織 信子
- 障子洗ふあくに染まりし手の痛み 旭町 笠井みち子

障害者を地域で支える実践活動

昨年6月27日に「ふじばら作業所」で、障害者を地域で支える実践活動が行なわれ、この様子を書いた若月くんと土橋さんの作文が、静岡県民生部長表彰を受けたので紹介します。



障害者の人たちの体験をして

町立第一小学校六年
若月 雅史 くん

今日、初めて、目や足の不自由な人たちの不便さや努力を知るために、実際に体験してみました。今までは、ただかわいそうとか、苦労しているんだなと思っていただけでしたが、この体験を通して体の不自由な人の苦しみや苦勞、一日一日を命がけで生きていることが、よくわかりました。

車イスにも乗らしてもらいましたが、ちょっとした坂道を登るだけで、手が疲れてしまい、すぐにばててしまいました。初めて使う時、ものすごい練習と試練をのりこえなければならぬでしょう。僕たちは車イスがあれば「乗せて、乗せて」、まっづばえがあれば「やらせて、やらせて」と、



障害者の気持ちって…

町立第一小学校六年
土橋 真衣子 さん

障害のある人たちが使っている物をめずらしがって、変った自転車や竹馬で遊ぶようになります。しかし、考えてみればこのような事は不自由な人たちにとって、とても失礼なことです。僕たちは、べつに不

この間、障害者の体験を通して、障害者のみなさんが苦しく、悲しい思いをしているのではなく、周りの人たちの態度などで、悲しい気持ちになることがよくわかりました。私の学校でも心身障害の人がいますが、私のクラスでも

自由な所がないのに使いたくなるのですが、不自由な人たちは使いたくなくても、そのような器具を使わなければならないのです。

本当は、障害を治すことができ、みんな同じように生き、るのが一番いいことだけれど、それはできません。僕の身近には、体のどこかに障害のある人はいませんが、もし障害をもった人に出合ったら、自然にふれ合い、手をかしてあげたいです。

気を使いながら、接していません。今、日本では障害者だからといって、変な目で見たり、バカにする人が増えているようです。だけど障害者の人たちは、なりたくてなったのではないので、その人たちの気持ちは、とてもうずうずした

いくらい、いやな気持ちだと思えます。そして、障害者の人たちが、がんばっていることがよくわかりました。

「周りのみなさんが、かけ声をかけたり、ただ肩をたたくてくれるだけで、とてもうれしい。それは、私も障害者ですが、声をかけてくれるだけで、みんなと同じように思ってくれると思うからです」と太田先生が話すのを聞いて、私たちが、ただあいさつをしたり、話をしたりすることが障害者の人たちにとって、うれしさや喜びとなって聞こえる。そういうのっていいな。もっと素直にせつていれば、友達として、とってもいい仲間になれると思います。

この体験をして、なつてみなければわからないいろいろな気持ちなど、とてもよく障害者の気持ちがわかりました。これからも、障害者の人に素直に、心やさしくせつして仲良くなり、人の気持ちがよくわかる人間になりたいです。

戸籍の窓

平成元年11・15～12・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名 氏名 保護者続柄

相生町 長尾 剛志 守利 長男

坂下 勝呂仁美 功 長女

坂下 齋藤雪弥 章 二男

旭町 望月美沙 昭彦 三女

四丁町 麻布絢乃 昌昭 三女

東町二 寺本梨奈 満 二女

東町二 池上遼武 二男

南町一 井出歩謙一 長女



旭町	草薙 ミツ	八〇
新町	桐谷 菊松	八四
幸町	宇佐美吉太郎	八九
東町二	井上かつ江	七七
大北町	富澤 たま	七五
大北町	佐野みよこ	八二

しかし、私の一年を振り返って、どのような事があったのかと思ひ出してみても、すぐに記憶がよみがえってきません。毎日、毎日を楽しく過ごしていたような気がしますが、充実感よりも無駄な時間が多く、余裕がなかったような感じがしています。

人間には生きていくうえで、

何が必要なのでしょう。私は目標を持ちたいと思つてい

ます。何も大きなものでなく

ても、ほんの少し先の小さな

目標を持ち、それに向かって

進んでいけば、一日一日が違

つてくるはず。また、何

か目標を持てるということは、

頼もしくもあります。それを

達成するには努力が必要です

し、それが自信につながりま

区名 氏名 年齢

相生町 齋藤 三江 七七

一九八九年も、あつという間に過ぎてしまいました。世間では、歴史的にも大きなニュースがたくさんありました。



町への寄付金

平成元年11・16～12・20

(敬称略)

社会福祉事業へ

二万円 石川 詮(俣下町)

十万円 錦織武雄(南町一)

二万円 齊藤昌裕(相生町)

(望月理絵)

お母さんの「知恵袋」

なるほど・ザ・ミカン

冬の代表的な果物の一つに、ミカンがあります。

この皮には、リモネンが含まれており、浄化作用があります。鏡やテープ

ルに油性のフェルトペンで書いてしまった落書き

などを、皮の表面でこすってみると、不思議に汚

れが少しづつ取れます。また、温州ミカンの皮

を目干しにして乾燥させます。この乾燥したもの

(約5g)に砂糖を加え、

熱湯を注いで飲むと、風邪のひきはじめやせき止

めに効果があります。胃

弱の人には、シユウガのおろし汁といっしょに飲

む方法もあります。

ミカン風呂は香りがよ

く、血行もよくなります。

皮を細かくちぎったもの

を、手ぬぐいの袋に入れ

沸かす前から入れておく

と、体の芯から温まるの

で、ぜひ、試してください。

(婦人会 芦川)